



協漁協 初の試み「友釣り特別区」

北川漁協
ダム下流3・5キロ区間

漁解禁の10日から

延岡

延岡市の北川漁業協同組合（長瀬一己組合長）

は初の試みとして、「友釣り特別区」を北川の一部区間に設定する。一般開放は北川水系でアユ漁が解禁となる今月10日から。長瀬組合長は「北川

………

解禁日を前にアユを放流する北川漁協の組合員

（8日、北川町堀切）

にはアユが大きく育つ環境がある。ぜひ「尺アユ」を目指して釣りを楽しんでほしい」と呼び掛けている。

特別区は、北川ダム下流200メートル付近から北川町堀切（通称・猫岩）までの約3・5キロ。8日

には、北川漁協の組合員と大分企業局の職員8人が参加してアユを放流。

県の委託放流業者である宮崎市高岡町の中村養魚場が用意した23、24号ほどに成長したアユ612キを同区間の8カ所に放流した。

北川ダムで維持流量放流設備設置工事を行っている同企業局は、工事で

下流域に濁水が放出された事に対する還元放流として平成25年から同漁協

工務課土木施設班の後藤祐三主幹は「地元にある恵まれた自然に触れ合っ

てほしい」と話した。北川漁協はこれまで、

「大きなヤマメ、大きなアユの釣れる北川を目指そう」と河川の利用方法

の在り方を検討。昨年2月には同区間に「ヤマメのキャッチ&リリース」を設けるなど、新た

る。

特別区の設置について、長瀬組合長は、「釣るのは大きいアユの方がうれしいに決まっています。釣り人に喜んでもらいたい」と話していた。

特別区の「釣り券」は、

通常の入漁券とは別料金で事前購入が必要。料金は年間7000円、1日券3500円。特別区の年間釣り券で北川水系全域でのアユ漁が可能という。漁期は9月30日まで。

問い合わせは北川漁協

（延岡46・3922）。